

道東地区教会連合会機関誌



# 道東 43 こ う ほ う 光 報



'DŌTŌKŌHŌ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No. 43 Oct., 2019

## 巻頭言

## 教会とのご縁

北見教会

新谷道雄

例年、わが家では大みそかの夕方に一年の家族の無事と農作物の収穫に感謝して、家族全員でお祈りすることが恒例になっていた。元旦は、この一年無事に過ごせるようにとお祈りをしている。それは大きくなってから理解したことだ。

幼いころの印象は、神棚の部屋に暖房施設はなく寒い。それに電球の照明で暗く、寒さと足の痺れに耐えていた。これが終われば、温かい部屋でおいしいご馳走が食べられると、我慢していた。

それでも父の、「うたまえともうす」とか、「仰ぎまつる」などの言葉と情景が、いまでも記憶の片すみに残っている。

高校時代の秋に、住居としていた寄宿舎で思いもよらず火災が発生し、衣類や教材が水浸しで使いものにならなくなった。(原因はその後  
の検証で漏電と分かった。)

そのような予期せぬ事態になり、網走教会に従兄や同じ集落の同級生と三人で下宿して三ヶ月お世話になった。

そのときの教会長先生は高松先生だ。先生は明るく豪快な人であった。ときには公衆浴場に出かけて、先生の背中を流したこともある。朝食と夕食は先生のご家族と一緒に食事をした。また、先生の奥さんには昼の弁当も持たせて頂いている。

記憶では、先生のお子さんは三人で、一番下が女の子の

で当時はまだおしめをしていた。今にして思えば、奥さんは大変だったろうと感謝している。

上はお兄ちゃん二人で、学校の休みにはその息子さんたちと遊んだ。

赤トンボが飛んでいる木材置き場の空き地でゴム飛行機(指でプロペラを回しゴムを巻きつける)を飛ばした。今となつては懐かしい思い出だ。

父は家でとれた鶏のたまごと野菜を持って、時々参拝を兼ねてきていたが、先生とお話しをして早々と帰っていった。秋の収穫時期で忙しかったのだろう。

○  
それから社会人になって、東京、横浜で四十年あまり

を過ごした。親が健在中は二、三年ごとに帰郷している。

父からはよく手紙の便りがあった。教会の小冊子も入っていた。三度に一度程度しか返事を出さない親不度しか返事を出さない親不度幸の息子であった。故事・こ  
とわざにあるように、「孝行  
したい時分に親はなし」であ  
る。

横浜に住んでいたころの  
ある日、横浜駅前の高島屋の  
雑踏を歩いていると、前を  
歩いているお婆さんの後ろ  
姿が母親にそっくりだった。  
母親が亡くなって三、四年が  
たっていた時期だ。突然涙が  
頬をぬらした。そうか、この  
世にもう母はいないのだ。通  
行人はそんなわたしを横眼  
でチラット見て、なにことも  
ないかのように通りすぎて  
いく。

子どもに恵まれず、六十で  
定年退職をして近くに兄弟が  
いる北見に移住した。会社人  
間でしたので当初は親戚以外  
の知りあいがなくて寂しい思  
いをした。

家内は北見の高校時代のク  
ラスメイトと文通や帰郷した  
時に会っていたので、北見へ  
の移住を喜んでいいる。

○  
そのような現状を見てか、  
網走の兄は教会への参拝を勧  
めてくれた。

北見教会への初参拝は、布  
教九十年記念大祭の日で大勢  
の参拝者が訪れていた。

兄が一緒の心強さもあった  
が、一方ではなんとなく故郷  
に帰ってきたような安心感も  
あった。

○  
今では、教会や町内会、ラ

ジオ体操にシルバー人材セン  
ター、道新文化センターの受  
講生として知人や仲間もでき  
て、充実した毎日を過ごさせ  
て頂いている。これもひとえ  
に、各教会長先生はじめ、信  
徒のみなさん方の温かいご指  
導のおかげと日々感謝してお  
ります。

○  
天地賛仰詞に「人智のはか  
り及ばざる処なれども」とあ  
ります。御神示を受けられた  
教祖様の教えを信じ、これか  
らも朝夕お祈りを続けます。



道東地区教会連合会ホームページ  
(PC用)  
<http://kontoka.webcrow.jp/doto>

行事報告

▼「神人」あいよかけよの  
生活運動合同地区集会

9月7日(土) 13時～16時  
参加者 24名

▼道東地区教会連合会交流会

9月7日(土) 時  
参加者 20名

▼「KONKOあれこれ塾」

金光教の終活講座  
9月8日(日) 10時  
参加者 26名

いづれも十勝教会を会場に開  
催されました。

秋の大祭日程

- 釧路 10月20日
- 北見 11月3日
- 十勝 11月17日
- 帯広 11月10日
- 網走 10月27日
- 滝上 10月13日

### 教会掲示板

教会からあれこれ

### 網走教会

網走市北四条西一丁目六番地  
TEL 〇一五二一四三一三九五四  
FAX 〇一五二一四三一三九五四

### 滝上教会

紋別郡滝上町元町土別通り

チャリティーバザーも今年で第20回を迎えます。

記念すべき第一回は、初めてのことであり、ご信者さんや地域の方もどれくらい来てくれるか分からないこともあつて、控え目に、ネーミングもミニチャリティーバザーとして開催しました。教会後継に入つて間もない3年目の平成12年のことです。

当初は、周囲の理解も今ほどはなく、夜遅くまでお広前の会場セッティングをしていたことなども懐かしく思

い出されます。また、一般的にこの様なバザーは2〜3年で物が集まらなくなつて出来なくなるなどあつて、ここまで続けることができれば誰も思つていませんでした。

これは、「人の助かりを願ひ神様に喜んで頂ける教会活動を」との大きな願いに、天地の親神様がお応えくださり、信者さん方も回を重ねるごとにその願いへの理解を深めて、積極的に取り組んでくれる様になつて来た結果だと思ひます。

具体的には、当初は教団が進めている「一食を捧げるチャリティー」での、アジアの貧困にあえぐストリートチルドレンの保護、更正活動への募金集めでしたが、平成23年の東日本大震災より、国内でおきる大災害への義援金集めが主となり、その目的も時代と共に変遷しています。バザーの在り方について

も、信徒会役員さんと試行錯誤を重ね、ようやく今の形に納まつてきました。また、過去19回のうち、雨に当たつたのはわずか2度で、それもちよつと降つただけで済んでいる事なども特筆すべき事柄で、今日までのことは、すべて親神様の御繰り合わせであつたと有り難くてなりませ

（菊川）

### 帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地  
TEL 〇一五五一一三一六八三五  
FAX 〇一五五一一三一六八三五

「おじさんの独り言」

ご用で札幌や地方に向かうことが多いのですが、その中で思うことは、独り言と思つてお許し頂きたい。将来この国はどういう風になるのかと心配になります。

令和元年9月30日ポケットベルのサービスが終了しました。懐かしく思われます。

90年代にポケットベルが一般にも普及し始め、それから携帯電話、スマートフォンと変化をして、今ではスマートフォンに手にする人は大人から小学生までになりました。普及率を調べてみると10代〜20代では2013年7月の約7割から約9割に、2013年7月には半数に満たなかつた40〜50代も8割越え、60代では2013年7月にわずか19.7%だったスマホ普及率が7割に迫るようです。

確かに回りを見渡すと非常に多いです。その中で問題に感じるのは「ながらスマホ」スマホを操作しながら歩く人、車、自転車を運転しながらする人達です。危険な行為です。

地下鉄に乗ってみると大半がスマホを操作しています。のぞいてみるとゲーム、ファッション、漫画、ライン

など様々ですが、休むことな  
く見ています。公共の乗物は  
携帯電話はマナーモードに  
するか電源を切ることを注  
意喚起していますが、ひとり  
がマナー違反をすると連鎖  
的にかげ始めます。若い人も  
年寄りも同じです。

おじさんは何故か憤慨を  
覚えます。何故でしょうか。  
私ひとりでしょうか。皆さん  
もこのような経験はないで  
しょうか。

なぜ憤慨するのか、老いた  
自分、使いこなせない自分だ  
からでしょうか。道徳観が違  
うのか、自分さえ良ければい  
いと思う自己中心的な人に  
対してなのか。よく分からな  
いです。ゲーム、ファッショ  
ン、漫画、ラインなどは人  
に迷惑をかけていないから  
良いと思う人もいます。逆に自  
分自身も気づかないマナー  
違反をして他人に迷惑をか  
けているということもある

のではないかと危惧していま  
す。

いづれ携帯電話(ガラケー)  
も終了して、私もスマホに  
必然的に購入すると思われま  
す。私も気づかないマナー違  
反状態になるのを注意しなけ  
ればなりません。

今「スマホ依存症」(四六  
時中スマートフォンをいじつ  
ており、スマートフォンを触  
れないと心配になってしま  
い、他の事が考えられなく  
なってしまうたりする)病氣  
的としてその人のことを祈る  
ということも大切なことと思  
われます。

確かに便利になり情報もあ  
るふれるぐらあります。必要  
だと思われるアプリもたくさ  
んあります。特に災害が多発  
している今日、災害アプリが  
あると非常に便利だと思いま  
す。

そこで気づかされるのは、  
教祖様のみ教えに、参拝者が

「世の中もさらに変わりました。昔  
て、蒸気船もできました。昔  
の大和船で参りますより、よ  
ほど速いものでございます  
が、おいおいには電報もでき  
て、東京までも一時間で返事  
が取れます。また、電話とい  
うものができると、いなが  
ら遠方の人と話ができます」  
と申しあげた。それを聞かれ  
て、金光様は、「私は汽船も  
電報も知りませんが、まだ速  
いことがあります。日乃大神  
様は、朝から晩までに東から  
西のはしへ、ずうつとお入り  
になつてしまふ」と仰せられ  
た。現代の文明力に頼り切  
ることなく、前回に続き「天  
地の大恩を知る」ということ  
が立教百六十年を迎え益々感  
じさせていただかなければと  
思います。

(田中)

## 北見教会

北見市寿町三丁目五番一号  
TEL 〇一五七―二四―七四七四  
FAX 〇一五七―二四―七四七四

最近、様々な分野で新常

識が語られています。例え  
ば、健康についてはコレス  
テロールの研究が進み卵は  
一日一個が制限なしになつ  
たり、高齢者はお肉を食べた  
ほうが良いとか、今まで信じ  
られていたことは間違いで  
あつたと言われています。ま  
た、歴史も悪人とか卑怯者と  
されていた人達が実は非常  
に有能で優れた才覚の持ち  
主であつたと評価が変わつ  
たり、事件が起きた年代や内  
容も新たにされたりと歴史  
の教科書も私が習った頃と  
はずいぶん変わっているよ  
うです。医学は学者や研究者  
の地道な努力の成果なのか  
も知れませんが、歴史などは

時の政権の意向などもある  
ので、どちらも今後変わる可  
能性があるかもしれません。

又、世の中も、ファッショ  
ンは男女の差がなくなり、男  
らしいとか女らしいなどと  
うっかり言うとかセクハラ発  
言と取られるなど、色々とい  
れまでの常識はあまり通用  
しないと思っただ方が良くい  
でしょう。更に、近年の気象の  
変化は常識とは違いますが、  
今までのデータが全く通  
用しない変わりようです。文  
明文化の進歩はすべてにお  
いて常に変化し続けていま  
す。

さて、信心はどうでしょう  
か。信心は心のことですから  
目には見えません。にもかか  
わらず、形に表れるおかげを  
頂くものとか信心があると  
かないとか信心するものは  
こうあるべきとか、信心にま

つわる常識にいまだに囚われ  
てはいないでしょうか。

今年には立教百六十年とい  
う記念のお年柄にあたり、それ  
は大変意義深いことである  
と同時に、今後の金光教、そ  
して信心を考える年でなけれ  
ばならないと思います。今そ  
してこれから生きるもの  
とって大切なのは、信心の通  
説、常識に惑わされず、お礼  
と共にこれまでのことを顧み  
今後の地球全体、そこに暮ら  
す自分と人々の本当のあるべ  
き姿を考えることではないで  
しょうか。 (矢代)

### 釧路教会

釧路市宮本二丁目五番二二号  
TEL 〇一五四一四一一三五一  
FAX 〇一五四一四一一三六一

### 「ラグビー」

スポーツが得てでない私だ  
が、ラグビーという競技があ  
ることは知っていた。スクラ

ムを組むことも知っていた。  
それがいきなり、日本でW杯  
が開催され、日本中がラグ  
ビーに踊らされているような  
雰囲気を感じる。

今から何年前になるか、  
ちよーど、サッカーが日韓で  
開催されることになった、あ  
の時を感じる。それから、学  
校でスポーツをする少年から  
バットとボールが消え、子供  
の頃を思い出し何となく淋し  
い気持ちになったことを思い  
出す。

さて、ラグビーだが、9月  
2日の天声人語で日本にラグ  
ビーを伝えたエドワード・ク  
ラクという英国人を紹介し  
ていた。慶応大の英語講師と  
して赴任。「時間と秋の素敵  
な天気をむだにしてのらくら  
していた」学生を見かね、放  
課後にラグビーを進めたらし  
い。

五郎丸さんの出現か、この  
度のW杯が決まってからか、  
エドワードさんの墓を探し  
始めたのか、六甲山系再度山  
の神戸市立墓地で墓石がか  
すむ墓を見つけ、その脇に慶  
応大OBが2017年「日本ラ  
グビーフットボールの父」と  
石碑を建立しようだ。

もう少し書き足せば、ラグ  
ビーの伝道者が長く忘れら  
れていたのは、慶応大奉職  
中、リウマチで右足を切断し  
たかららしい。歩くこともで  
きず、本分の英文学に情熱を  
注ぎ、京都帝大などでも教  
え、60歳で亡くなったとい  
う。この記事と同じように私  
もリウマチだが、足を切断す  
ることにならず、お酒も飲み  
ながらご用できる有り難さ  
を感じている。

いよいよ20日からロシア  
との開幕戦をテレビで観戦

していた。面白くなかったら他にチャンネルを変えようと思っていたが、ついつい最後まで見てしまった。テレビでも日本戦以外は、BSになるので、網走で合宿していたフイジー戦は見なかった。

アイルランド戦が始まる前日、テレビでラグビーの観戦の仕方を解説していた。ボールを蹴る前方になぜ日本選手はいないのか、疑問に思っていたが、なぞが解けた。攻めているチームはボールの前に守る側に選手が入れば違反になり相手ボールになる。

ボールをもらったチームは、蹴って相手ホールに入れるか、攻めて相手ゴールに入れるか、選択ができる。これはロシア戦で、日本が見せたゴール前のあの光景だ。

ラグビーは、ボールを見ている競技だと。

さて、アイルランド戦であるが、就寝時間の関係で見ることができなかった。

29日朝、百々代が先に起きていてテレビを見ていて、日本が勝つたよと言われ、エツと答え顔を洗ったり、服を着ながらテレビを見ていると、

何回もそのニュースをやっている日本も勝因も解説しているらしい。

かつて、1995年第3回W杯ニュージーランド戦で、17対145で大敗を喫し、最多失点記録が残っていると

いう。そこから、日本ラグビーは鍛錬に鍛錬（お前等は、寺にでも行って段銭でもしてるとまで言われながらも）練習を重ねていた。

日本はサモア戦も勝つたよ。うだ。あとは、強豪のスコットランド戦、その後は大変だ。

世界の強豪が待っている。私も含めて、これほど金光大神の信心に一生懸命になったら嬉しいことだけだね。（江郷）

### 十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二一  
TEL 〇一五五七一一一三三三  
FAX 〇一五五七一一四二二三

一雨ごとに秋が深まり紅葉も進んでいます。その紅葉の下にはキノコ達が！「これは多分ボリボリ」、「こっちは恐らくラクヨウ」というように私の知識では「多分」とか「恐らく」がつくので自分で採ることはありませんが…。

もしこれが「これはホンシメジで美味、こっちはクサウラベニタケで別の意味で天国の味わい」というように見分けられれば、教会裏の林は我が酒肴の一大供給源になっていたであろうに…残念！

ちなみ日本だけで七千種類のキノコがいるらしく（専門

家でもわからないような）、そのうち食用にされているのは約三百種類だとか。つまり日本に生えているキノコのほとんどが「これは食べられないからいらぬ」と言われているわけです。

野生のキノコは枯れ木や落ち葉を分解し天地に還元する働きを担っています。その分解力はすさまじく、キノコがいないと世界中の山林は枯れ木だらけになってしまふとも言われています。野生に生えるキノコのほとんどが私たちにとっては「食べられない、役に立たないキノコ」ですが、天地にとっては必要不可欠な存在です。私たちの世界は「自分には直接必要の無いその他大勢」がいてこそ成り立っている。「天地に無駄のないのちはいない」と唯一自信を持って見分けがつく舞茸を食べながら思うのでした。（玉置）